

## 案件概要書

2013 年 8 月 27 日  
国際協力機構中南米部  
中米・カリブ課

### 1. 案件名（国名）

国名：ハイチ共和国

案件名：クロワデミッション橋梁及び 9 号線橋梁架け替え計画

(The Project for Reconstruction of the Bridges of the Croix de Mission and the Route Soleil Neuf)

### 2. 事業の背景と必要性

#### (1)当該国における運輸交通セクターの開発実績（現状）と課題

本事業が対象とするクロワデミッション橋と 9 号線橋は、首都圏から北部の工業重点開発地域へ向かう唯一の幹線道路である国道 1 号線及び国道 1 号線のバイパス道路 9 号線上にあり、首都圏と北部・中部地域間の運輸交通経路を確保する大動脈の一部を形成している。クロワデミッション橋の平均交通量（26,000 台／日）は増加傾向にあり、北部・中部地域へ向かう車両の約 80%が同橋を通過している。しかしながら、当橋は 1962 年に建設されたものであり、著しく老朽化しているほか、2010 年の大震災及び度重なるハリケーンによる損傷から、落橋の可能性を含め、通行の安全性上の危険が高まっている。9 号線橋は、1997 年に建設された仮設橋であり、クロワデミッション橋と同様に自然災害による損傷が著しいのみならず、渋滞する国道 1 号線を避けてバイパス道路 9 号線を利用する大型車両の増加による重量負荷への耐久性不足も懸念されており、より安全性、耐久性の高い恒久橋への架け替えが必要となっている。

#### (2)当該国における運輸交通セクターの開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

ハイチ政府は、経済及び行政機能の首都圏への一極集中が未曾有の規模の震災被害を招いたとの反省に基づき、「ハイチ国家開発戦略計画」（2033 年までの開発政策、2012 年策定）で地方分散化を掲げ、ドナーの支援を受けて北部地域で工業団地の建設を開始するとともに、国道 1 号線、首都と中央県間の国道 3 号線等の整備事業を実施している。本事業が対象とする 2 橋梁の架け替えは、同計画で推進する地方部の産業開発及び首都と地方間の交通インフラ整備に整合しているほか、渋滞対策、防災の観点からも重要な位置づけにある。

#### (3)運輸交通セクターに対する我が国の援助方針

我が国の対ハイチ国別援助方針の基本方針（大目標）「大地震からの復興と基礎社会サービスの確立」に合致し、「復興のための基盤整備プログラム」に位置づけられる。当該セクターにおける協力実績としては、紛争予防・平和構築無償資金協力「レオガン市復興のための市街地道路整備計画」及び国別研修「大地震後復興研修」がある。

#### (4)他の援助機関の対応

米州開発銀行（IDB）は国道 1 号線上の一部の区間の道路修復を支援しており、欧州連合及びフランス開発庁（AFD）は国道 3 号線の修復事業を実施している。

### 3. 事業概要

#### (1)事業の目的

本事業は、首都圏から北部の工業重点開発地域へ向う国道 1 号線及びバイパス道路 9 号線上にある 2 橋を架け替えることにより、通行の安全性向上及び物流の円滑化を図り、もって地方部の産業開発及び震災からの復興に寄与することを目的とする。

#### (2)プロジェクトサイト/対象地域名

西県ポルトープランス市・クロワデブーケ市

#### (3) 事業概要

1)土木工事（国道 1 号線上の橋（約 90m）の架け替え、9 号線上の仮設橋（約 90m）の撤去と新橋の建設、部分的な護岸整備工事、部分的な道路拡張工事）

2)資機材調達

3)コンサルティング・サービス（基本設計、詳細設計、入札補助、施工監理）

#### (4) 事業実施体制

事業実施機関：公共事業運輸通信省

#### (5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

##### 1) 環境社会配慮

① カテゴリー分類：B

② カテゴリー分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）に掲げる橋梁セクターのうち、大規模なものに該当せず、環境への望ましくない影響は重大でないと判断され、かつ、同ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすい特性及び影響を受けやすい地域に該当しないため。

2) 貧困削減促進等：協力準備調査にて確認。

(6) 他スキーム、他ドナー、他案件等との連携：上記 2.(4)以外の他ドナーの支援計画は現時点ではなく、他案件との連携の予定はない。

(7)その他特記事項：特になし。

### 4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

#### (1) 類似案件の評価結果

ソロモン「ガダルカナル島東部橋梁架け替え計画」の事後評価等では、完成後の補修に必要な経費が確保されておらず、予算の計上を促すフォローアップが必要であると指摘されている。

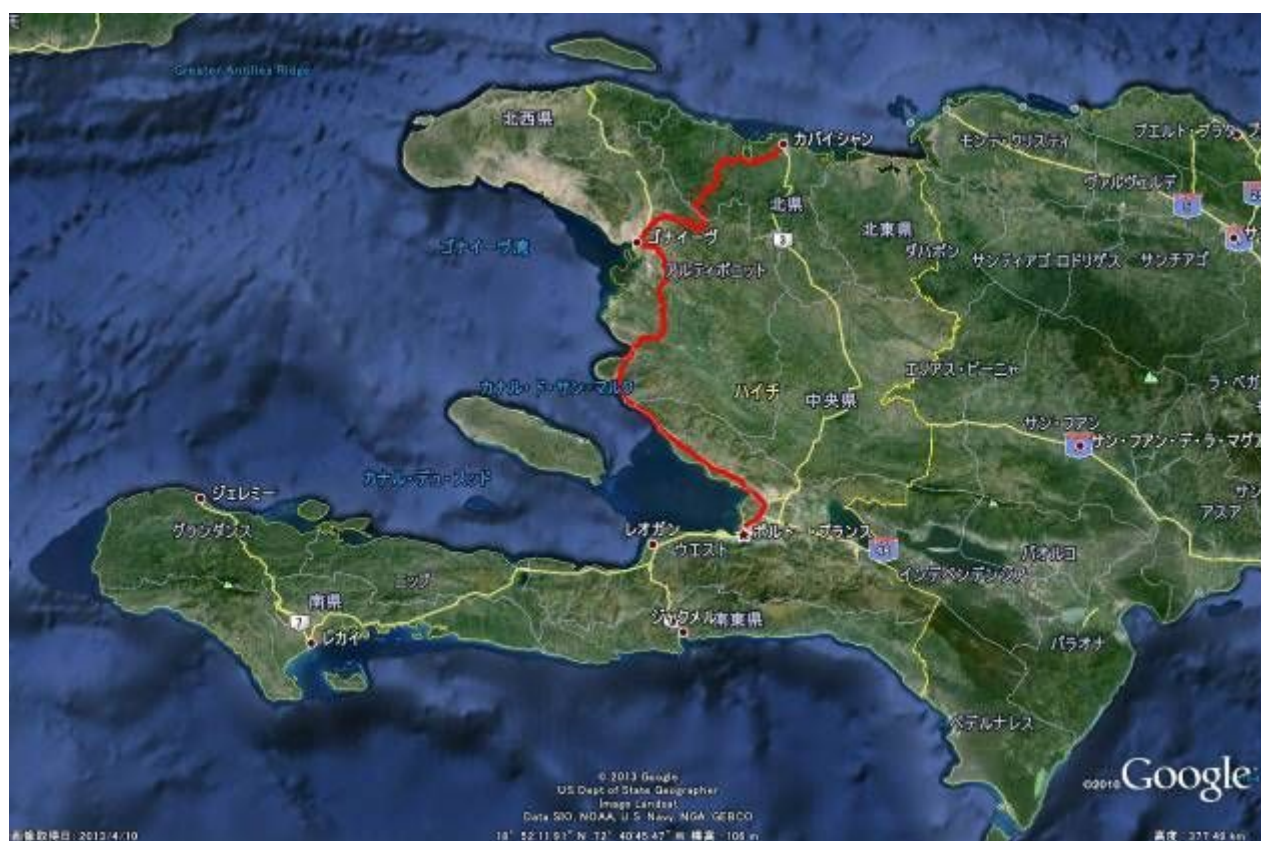
#### (2) 本事業への教訓

本事業においても、補修に関する予算措置等を含めた維持管理体制の確立が重要であることから、協力準備調査の段階で、公共事業運輸通信省の維持管理体制及び課題の把握を行い、本事業の持続性を高めるための方策を検討する。

以 上

〔別添資料〕地図

〔別添資料〕 地図



国道一号線



国道一号線上クロワデミッション橋及びバイパス上9号線橋の位置